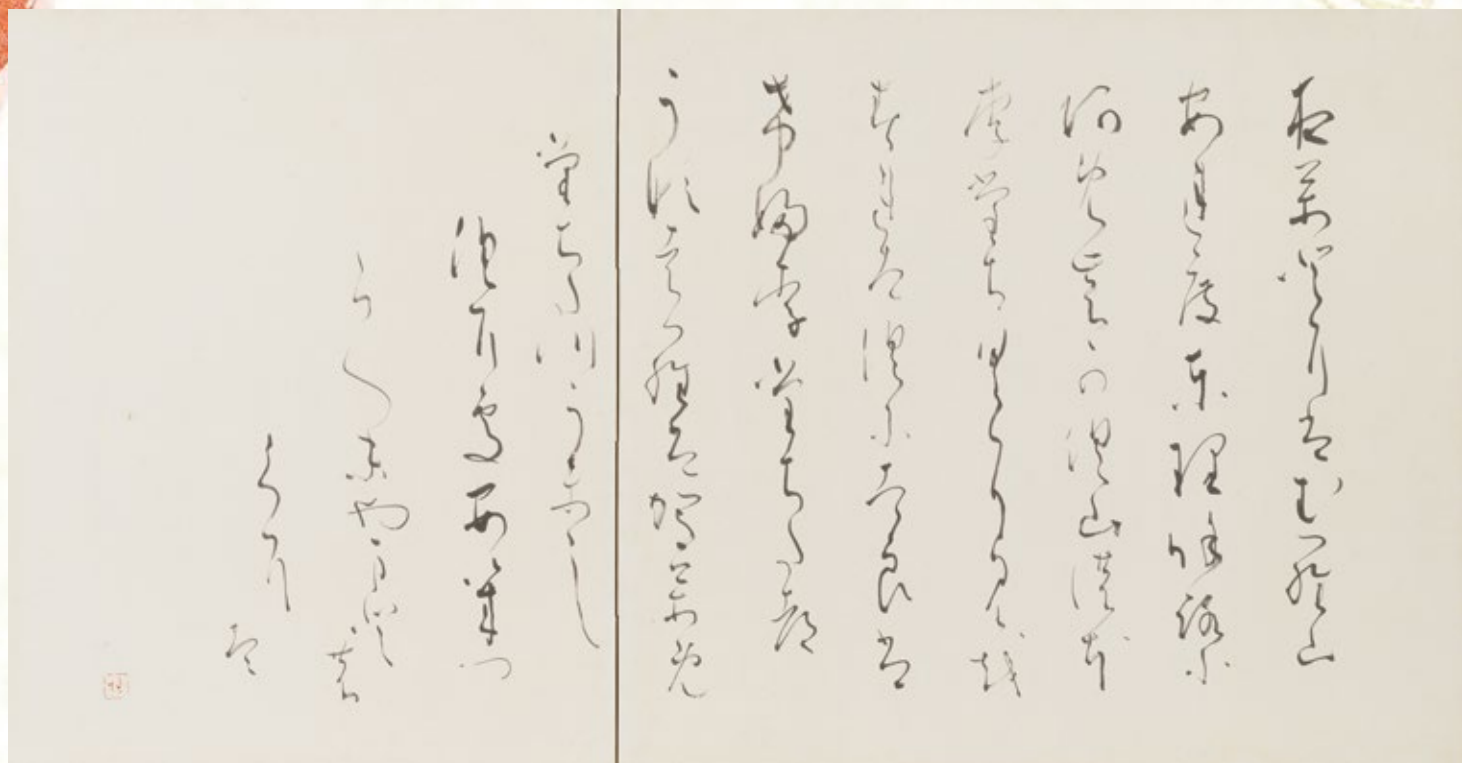


熊谷恒子記念館 かなの美展

熊谷恒子と『万葉集』

— 晩年までの荘重な書 —



熊谷恒子《やまとには（万葉集）》1957年、大田区立熊谷恒子記念館所蔵

大和には 郡山あれど とりよろふ 天の香具山 登り立ち 国見をすれば 国原は 煙立つ立つ
海原は 鷗立つ立つ うまし国そ 蜻蛉島 大和の国は

2025年12月20日(土) ~ 2026年4月5日(日)

開館時間 9:00~16:30(入館は16:00まで)

休 館 毎週月曜日、年末年始(12月29日(月)~2026年1月3日(土))

※月曜が祝日の場合はその翌日に休館

入 館 料 一般100円、中学生以下50円

※65歳以上(要証明)と未就学児及び障がい者手帳等をお持ちの方とその介護者1名は無料

大田区立熊谷恒子記念館

Kumagai Tsuneko Memorial Museum

【ギャラリートークのご案内】

開催日 2026年1月24日(土)、2月23日(月・祝)、2月28日(土)、3月14日(土)
各日11:00及び13:00から展示室で実施します。

※ギャラリートークの詳細は、当館ホームページまたは熊谷恒子記念館へお電話にてご確認ください。

〒143-0025 東京都大田区南馬込 4-5-15

TEL・FAX: 03-3773-0123

<https://www.ota-bunka.or.jp/kumagai/>



大田区文化振興協会
大田区文化振興協会

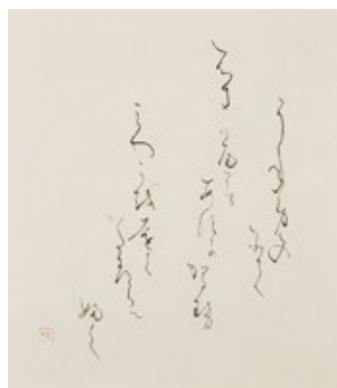
熊谷恒子記念館 かなの美展

熊谷恒子と『万葉集』

晩年までの荘重な書

書家・熊谷恒子（二八九三～一九八六）は、昭和期のかな書の第一人者です。かなの美展では、日本最古の和歌集である『万葉集』を題材として、恒子が晩年まで制作した作品を紹介します。『万葉集』は、奈良時代に大伴家持（おおとものやかもち）が編纂したと伝わる和歌集です。『万葉集』に関心を持っていた恒子は、『万葉集』や『古今和歌集』の和歌を平安時代に書写した「継色紙（つぎしきし）」の筆跡を研究しました。とくに、「老筆らしく渋味と荘重な書」として「継色紙」の散らし書きに注目しました。「継色紙」は、異なる料紙をつなぎ、和歌一首を継ぎ書きしているため、余白を美しく活かした散らし書きの特徴があります。

本展では、舒明天皇（じよめいてんのう）が奈良・香具山を詠んだ『万葉集』の和歌をもとにした《やまとには》（一九五七年）や、志貴皇子（しきのみこ）が奈良・藤原京に遷都した後、かつての飛鳥宮を追想した和歌を表現した《うねめのそで》（一九八二年）などを展示します。『万葉集』を中心に、恒子の代表作をお楽しみください。



熊谷恒子《うねめのそで（万葉集）》
1982年、大田区立熊谷恒子記念館所蔵

【関連イベント】

◆地域連携プログラム

「東京手描友禅 染色の技巧」

大田区伝統工芸士・町田久美子（まちだくみこ）氏の現代的な東京手描友禅の着物や帯などを、熊谷恒子の書とともに紹介します。

会期：2026年2月25日（水）

～4月5日（日）

料金：入館料に含む



町田久美子氏による袋帯「華紋」の制作風景

◆第4回記念館講座

「熊谷恒子と江馬家 風俗史家の兄・務の追想」

日時：2026年3月21日（土） 14:00～15:30

会場：大田文化の森 多目的室（大田区中央2-10-1）

料金：無料

定員：100名（定員を超えた場合は、抽選）

締切：3月6日（金）必着

申込：右下の二次元コードからお申し込みいただけます。



勲五等宝冠章受章の熊谷恒子と同時受章の実兄・江馬務（1967年）

大田区立熊谷恒子記念館

〒143-0025 東京都大田区南馬込4-5-15

TEL・FAX：03-3773-0123

<https://www.ota-bunka.or.jp/kumagai/>

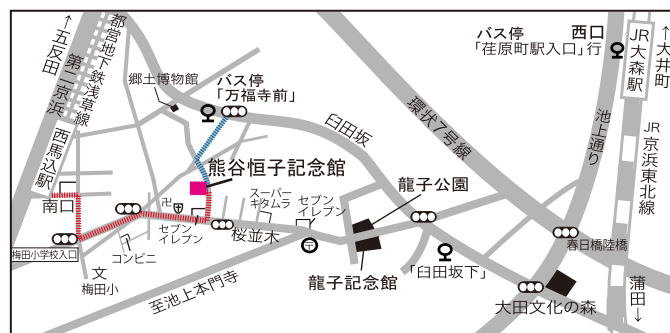


熊谷恒子《わがやどに（万葉集）》

1973年、大田区立熊谷恒子記念館所蔵

【交通のご案内】

- ・JR京浜東北線 大森駅西口から東急バス4番「荏原町駅入口」行乗車「万福寺前」、下車徒歩5分
- ・都営地下鉄浅草線 西馬込駅南口南馬込駅並木通り（桜のプロムナード）に沿って徒歩10分



Kumagai Tsuneko Memorial Museum

Information 4-5-15 Minami-Magome, Ota-ku, Tokyo, 143-0025

TEL:03-3773-0123

Open Hours 9:00-16:30 (entrance closes at 16:00)

Days closed Monday (When a national holiday falls on a Monday, the Museum will be open and close on the following day)

Admission Adults: 100 yen, Minors: 50 yen

・Free admission for children under 6 and seniors over 65

Access

- ・JR Keihin-Tohoku Line Omori Sta. West Exit, take Tokyu Bus No.4 towards Ebara-machi Sta. Entrance Bus Stop, get off at Manpukuji-mae, 5 minutes on foot
- ・Toei Subway Asakusa Line Nishi-Magome Sta. South Exit, 10 minutes on foot